(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024 年 4月 19日

神戸市長 宛

提出者

住所 岐阜県羽島市福寿町間島1518

氏名 丸栄コンクリート工業㈱ 代表取締役 棚橋 肇

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 058-393-0221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場		の	名	称	丸栄コンクリート工業株式会社 神戸工場								
事	業	場	の	所	在	地	神戸市西区神出町南苅屋413-2								
計		画		期		間	令和6年4月1日~令和7年3月31日								
当該	当該事業場において現に行っ						っている事業に関する事項								
	①事業の種類						ミ業・土石製品製造業								
	②事業の規模 売上げ金額:600,000千円														
	③従	業員	数				2 4 名								
		ご業廃 1理の			一連		①コンクリートくず:破砕処理→ 再生路盤材で再利用 ②がれき類:破砕処理→再生路盤材で再利用 ③木くず :破砕 →燃料に再利用 ④廃プラスチック:選別・圧縮 燃料に再利用 ⑤紙くす :選別・圧縮→燃料及び紙の原料に再利用 ⑥金属くず:選別→スクラップ(鉄の原材料)として、再利用								

	(第2	高)									
産業廃棄物の処理に係	る管理体制に関する事項	μц/									
↓指示	任者(工場長代理) ①処理 ↑報告 :・係員) ①マン	方針決定等 理計画の決定、②処理業者 ニフェストの発行・管理 業廃棄物の置場・表示の維									
産業廃棄物の排出の排	印制に関する事項										
	【前年度(令和 5年度)) 実績】									
	産業廃棄物の種類										
	排出量	別紙参照 t	t								
	コンクリートくずの小分り	ナ処理の実施									
	【目標】										
	産業廃棄物の種類	別紙参照									
	排出量	別紙参照 t	t								
②計画	(今後実施する予定の取得 コンクリートくずの小分に 木くず(木枠)については		〜分け処理の実施								
産業廃棄物の分別に関	する 事項										
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の種類を区分ごとに分けている。										
②計画	(今後分別する予定の産業 産業廃棄物の区分を強化 紙くす及び廃プラスチック		関する取組)								

①現状 ②計画 ○行う産業廃棄物の中	【前年度(令和 5年度) 産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取り 実施していない 【目標】 産業廃棄物の種類	別紙参照 別紙参照 t	t					
①現状 ②計画	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取) 実施していない	別紙参照 t	t					
①現状 ②計画	産業廃棄物の量 (これまでに実施した取 実施していない		t					
②計画	実施していない 【目標】	組)						
	産業廃棄物の種類							
		産業廃棄物の種類 別紙参照						
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙参照 t	t					
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(今後実施する予定の取) 今後の実施の予定はない。							
	<u> </u> 中間処理に関する事項							
	【前年度(令和 5年度))実績】						
	産業廃棄物の種類	別紙参照						
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙参照 t	t					
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙参照 t	t					
	(これまでに実施した取) 実施していない	組)						
	【目標】							
	産業廃棄物の種類	別紙参照						
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙参照 t	t					
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙参照 t	t					
		組)						

自身	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項												
		【前年度(令和 5年度)	実績】										
		産業廃棄物の種類	別紙参照										
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙参照	t									
	①現状	(これまでに実施した取約 実施していない	组)										
		産業廃棄物の種類	別紙参照										
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙参照	t t									
		(今後実施する予定の取組 今後も実施の予定はない。											
産業	英廃棄物の処理の委託	Eに関する事項											
		【前年度(令和 5年度)	実績】										
		産業廃棄物の種類	別紙参照										
		全処理委託量	別紙参照	t									
		優良認定処理業者への 処理委託量	別紙参照	t									
		再生利用業者への 処理委託量	別紙参照	t									
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙参照	t									
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙参照	t									
		(これまでに実施した取約 特に取り組みをしていない											

(第5面)

	(第 5		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	別紙参照 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙参照 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙参照 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙参照 t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙参照 t	t
	(今後実施する予定の取 処理業者を選定する場合		する。

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書) 現状:前年度(令和5年度)実績量 計画:今年度(令和6年度)計画量

	t)計画	計画量 単位:トン/年										/年								
	排出抑制に		自ら行う再 関する	自ら行う再生利用に 関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				目立処分等 る事項	処理委託に関する事項									
	排出		産業廃 (前年度実	利用を行う 棄物の量 續値の②+ 3))	産業廃3	1収を行う 棄物の量 (績値の⑤)	自ら中間! 減量する例 の (前年度実	E業廃棄物 量		分を行う産	全処理		処理3	処理業者へ の 委託量 (積値の⑪)	処理		認定熱回4	託量	認定熱回収 の熱回収 への処理 (前年度実	を行う業者 里委託量
産業廃棄物の種類	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0100燃え殻																				
0200汚泥																				
0300廃油																				
0400廃酸																				
0500廃アルカリ																				
0600廃プラスチック類	34	34	0	0	0	0	0	0	0	0	34	34	0	0	34	34	0	0	0	0
0700紙くず	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	4	4	0	0	0	0
0800木くず	39	39	0	0	0	0	0	0	0	0	39	39	0	0	39	39	0	0	0	0
0900繊維くず																				
1000動植物性残渣																				
1100ゴムくず																				
1200金属くず	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	6	6	0	0	0	0
1300ガラスくず、コンクリートくす及 び陶磁器くず	1327	800	0	0	0	0	0	0	0	0	1327	800	0	0	1327	800	0	0	0	0
1400鉱さい																				
1500がれき類	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	. 0	0	0	0
1600動物のふん尿																				
1700動物の死体																				
1800ばいじん																				
_																				
合計	1412	885	0	0	0	0	0	0	0	0	1412	885	0	0	1412	885	0	0	0	0

単付:トン/年